



STEP 3 基盤地図ビューアにデータを読み込む

図 3.3.1：基盤地図ビューアを起動



※この章では V4 の画面で解説しています。本書の執筆中に出た V5 ではウィンドウが1つにまとまっていますが、操作は同じです。

基盤地図ビューア (図 3.3.1) を起動したら、[ファイル] ⇒ [読み込む] で地図データを読み込みます (図 3.3.2)。フォルダは先ほどダウンロードしたファイルの親フォルダを指定します (図 3.3.3)。メインウィンドウが真っ青になってしまいますが (図 3.3.4)、[地図] の操作 ⇒ [1/10 万] とすると地図が表示されます (図 3.3.5)。

図 3.3.2：基本情報の読み込み

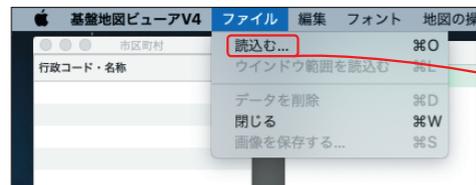


図 3.3.3：元データの親フォルダを選んで読み込む

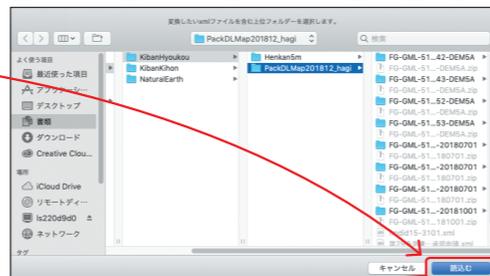


図 3.3.4：縮尺を変更する

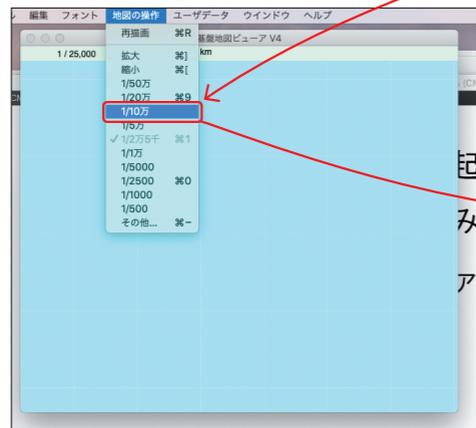


図 3.3.5：陸地が画面内に入ってくる

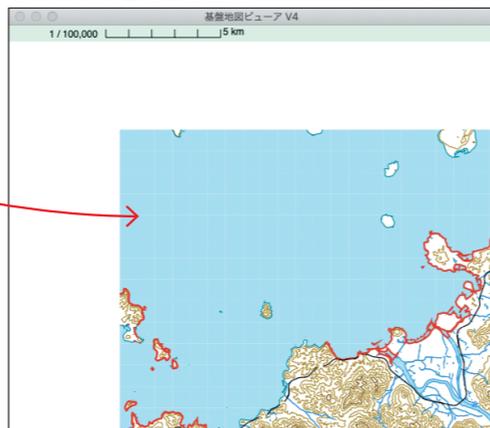


図 3.3.6：環境設定を開く

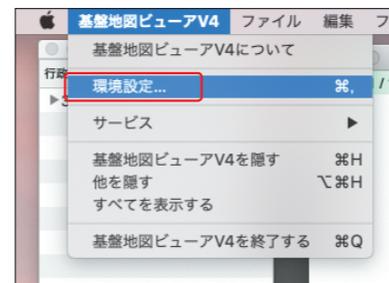


図 3.3.7：陰影タブでデータの場所を設定



図 3.3.8：変換したデータのあるフォルダを選択

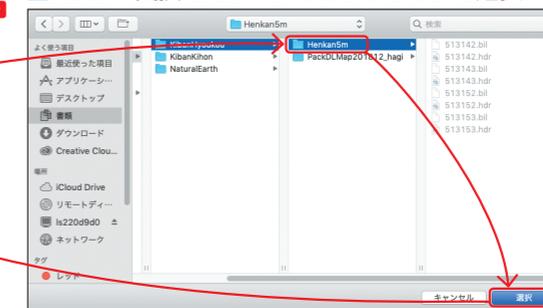


図 3.3.9：陰影を表示する設定



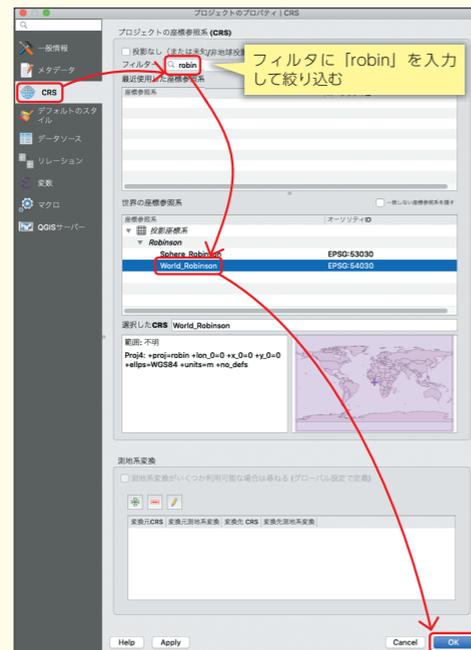
図 3.3.10：陰影が表示された



続いて、地形データを読み込むには、環境設定の [陰影] タブを開き、地形を変換したフォルダを設定します (図 3.3.6 ~ 図 3.3.8)。表示項目ウィンドウの一番下の [陰影] にチェックを入れ、「5m」に設定すると陰影が表示されます (図 3.3.9、図 3.3.10)。

① 図法・色分けを変更する

図 5.8.1 : プロジェクトのプロパティ (CRS)

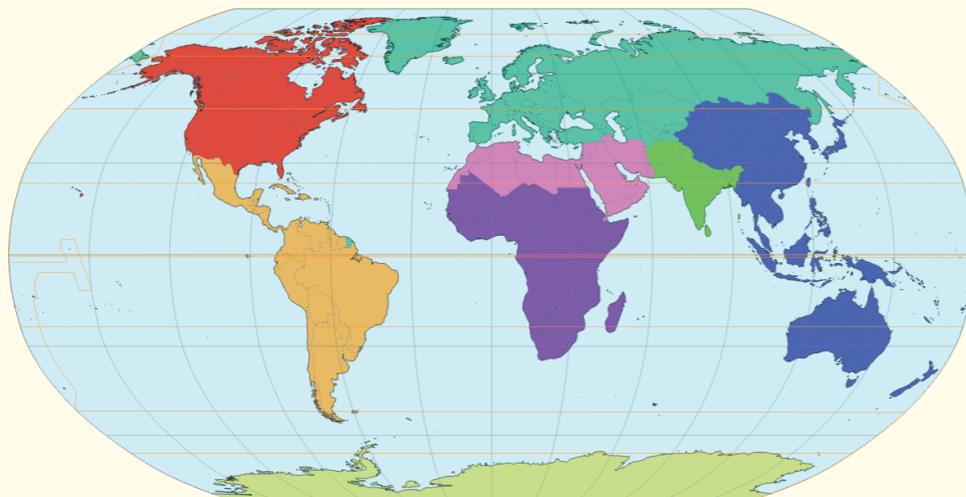


ロビンソン図法に変換する

Step6の図法の変換で、フィルタに「robin」と入力して絞り込み「World\_Robinson」を選択すると「ロビンソン図法」に変換されます(図 5.8.1、5.8.2)。

このように「座標参照系」を変更することで、色々な図法の地図が作成できます。きれいに変換できないものも多々ありますが、元データが壊れることはありません。色々試すだけでも楽しめると思います。

図 5.8.2 : ロビンソン図法



塗り分けを変更する

塗り分けも変更してみましょう。「ne\_50m\_admin\_0\_countries」レイヤーをダブルクリックして、シンボロジーのカラムを「REGION\_UN」にして「分類」ボタンを押します。以前の分類を削除するか聞かれるので「Yes」を押します(図 5.8.3)。国連の地域分けに塗り分けが変わります(図 5.8.4)。

図 5.8.3 : 塗り分けの変更

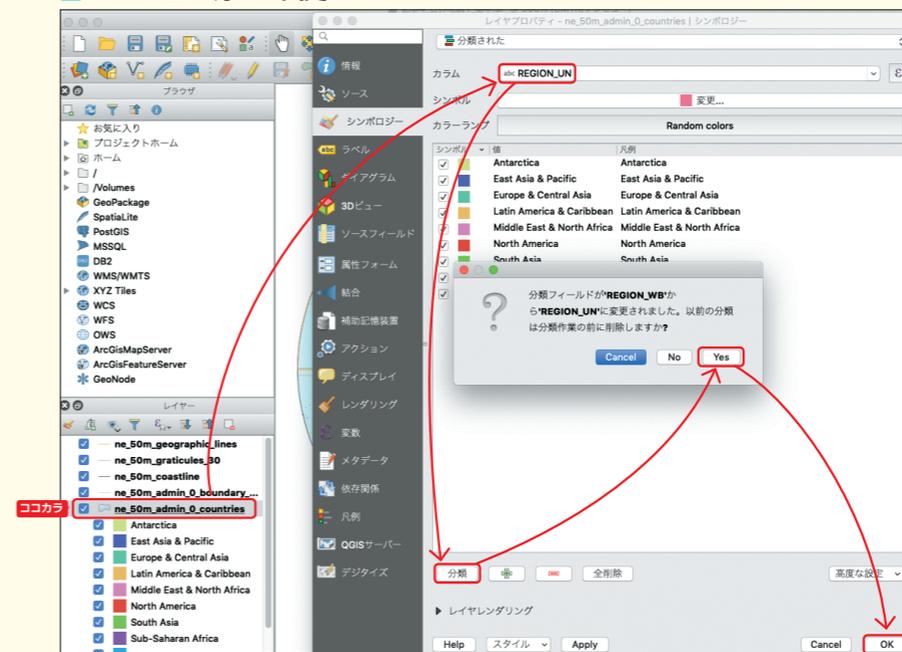


図 5.8.4 : 国連の地域分け表示



第1章  
第2章  
第3章  
第4章  
第5章  
第6章  
第7章  
第8章  
Appendix